

令和 2 年 度 事 業 実 績 報 告 書

自：令和 2 年 4 月 1 日
至：令和 3 年 3 月 3 1 日

社会福祉法人

南 風 原 町 社 会 福 祉 協 議 会

令和2年度 事業実績報告書

～ 令和2年度 事業実績報告について ～

令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大により、これまで住民が積極的に展開してきた支えあい・たすけあいの活動に大きな影響を与え、地域で実施されてきた多くの事業・活動が休止となりました。また、本会においても職員による訪問活動の自粛をはじめ事業及び各種研修会等の多くが中止となりました。

1. 会務の運営

(1) 理事会の開催

会員とその代表である評議員の負託を受けて、地域福祉推進のための諸事業の推進にあたる執行機関としての理事会を次のとおり開催した。

第1回

日 時 令和2年6月5日（金）午前10時
場 所 ちむぐる館 会議室1・2
出 席 理事 9人・監事2人、事務局 9人
議 案 第1号 令和元年度事業実績報告について
第2号 令和元年度決算報告について
第3号 嘱託職員等の処遇改善等に伴う給与等に関する規程及び各就業規則の一部改正について
第4号 理事の補充候補者について
第5号 評議員選任・解任委員の補充推薦について
第6号 評議員候補者の補充推薦について
第7号 令和2年度定時評議員会の日時、場所、議案について

第2回

日 時 令和2年9月29日（火）午後5時
場 所 ちむぐる館 会議室1・2
出 席 理事8人・監事2人、事務局8人
議 案 第1号 令和2年度資金収支一次補正予算について
第2号 定款及び評議員選任・解任委員会運営細則の一部改正について
第3号 第2回評議員会の日時、場所、議案について
会長の職務執行状況報告
報 告 ①会員会費の状況について

第3回

日 時 令和2年11月19日（木）午後5時
場 所 ちむぐる館 会議室1・2
出 席 理事9人・監事2人、事務局8人

- 議 案 第1号 生活福祉資金特例貸付業務特別手当の支給に関する規程の制定について
第2号 令和2年度資金収支二次補正予算について
第3号 第3回評議員会の開催について

第4回

- 日 時 令和3年2月18日（木）午後5時
場 所 ちむぐくる館 ホール
出 席 理事9人・監事2人、事務局9人
議 案 第1号 令和2年度資金収支三次補正予算について
第2号 非常勤ホームヘルパー（登録ヘルパー）就業規則の一部改正について
第3号 第22期 評議員候補者の補充推薦について
第4号 第2期 評議員選任・解任委員の選任について
第5号 第4回評議員会の開催について

第5回

- 日 時 令和3年3月18日（木）午後5時
場 所 ちむぐくる館 ホール
出 席 理事6人・監事2人、事務局9人
議 案 第1号 令和2年度資金収支四次補正予算について
第2号 福祉基金の取り崩しについて
第3号 嘱託職員等の処遇改善等に伴う各就業規則の一部改正について
第4号 令和3年度事業計画について
第5号 令和3年度資金収支予算について
第6号 第5回評議員会の日時、場所、議案について

（2）評議員会の開催

社協の活動方針や事業計画、予算・決算の審議、役員の選任、定款の変更等社協運営の重要な事項を審議するための機関である評議員会を次の通り開催した。

定時(第1回)

- 日 時 令和2年6月26日（金）午前10時
場 所 ちむぐくる館 ホール
出 席 評議員29人・監事1人・正副会長2人、事務局9人
議 案 第1号 令和元年度事業実績報告について
第2号 令和元年度決算報告について
第3号 理事の補充選任について

第2回

- 日 時 令和2年10月14日（水）午後2時
場 所 ちむぐくる館 ホール
出 席 評議員29人・正副会長2人、事務局8人
議 案 第1号 令和2年度資金収支一次補正予算について
第2号 定款の一部改正について
報 告 ①会員会費の状況について

第3回 決議の省略

経 緯 : 新型コロナウイルス感染症の収束が当面見込めないことから第3回評議員会を招集せず、書面による決議の省略の提案文書を郵送し、下記の議案(第1号)について評議員全員から書面による同意の意思表示を得たので、評議員会の決議があったものとみなされた。

議案 第1号 「令和2年度資金収支二次補正予算について」

評議員会の決議があったものとみなされた日 令和2年11月30日(月)

第4回 決議の省略

経 緯 : 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため県緊急事態宣言が発出中であることから第4回評議員会を招集せず、書面による決議の省略の提案文書を郵送し、下記の議案(第1号)について評議員全員から書面による同意の意思表示を得たので、評議員会の決議があったものとみなされた。

議案 第1号 「令和2年度資金収支三次補正予算について」

評議員会の決議があったものとみなされた日 令和3年3月1日(月)

第5回

日 時 令和3年3月26日(金) 午後5時

場 所 ちむぐくる館 ホール

出 席 評議員27人・正副会長2人、事務局7人

議 案 第1号 令和2年度資金収支四次補正予算について

第2号 福祉基金の取り崩しについて

第3号 令和3年度事業計画について

第4号 令和3年度資金収支予算について

(3) 評議員選任・解任委員会の開催

法人の関係者でない中立的な立場にある外部の者が参加する機関として評議員選任・解任委員会を設置し次のとおり開催した。

第1回

日 時 令和2年6月11日(木) 午前10時

場 所 ちむぐくる館 会議室3

出 席 評議員選任・解任委員4人、事務局1人

議 案 第1号 評議員の補充選任について

第2回

日 時 令和3年2月19日(金) 午前10時

場 所 ちむぐくる館 会議室3

出 席 評議員選任・解任委員3人、事務局1人

議 案 第1号 評議員の補充選任について

(4) 正副会長会の開催

法人の代表である正副会長会を毎月開催し、業務執行状況、予算執行状況の点検をはじめ、理事会、評議員会提案議案の調整、社協運営の課題等の検討を行った。

第1回

日 時 令和2年4月14日（火）午後2時
場 所 ちむぐくる館 会議室3
議 題 ① 3月の行事報告
② 4月の行事調整
③ 3月の寄附について
④ 報告・調整事項について
⑤ 社協運営の課題について

第2回

日 時 令和2年5月11日（月）午後2時
場 所 ちむぐくる館 会議室3
議 題 ① 4月の行事報告
② 5月の行事調整
③ 4月の寄附について
④ 報告・調整事項について
⑤ 社協運営の課題について

第3回

日 時 令和2年5月28日（木）午前10時
場 所 ちむぐくる館 会議室3
議 題 ① 5月の行事報告
② 6月の行事調整
③ 5月の寄附について
④ 第1回理事会の議案について
⑤ 評議員選任・解任委員会の議案について
⑥ 定時評議員会の議案について
⑦ 社協運営の課題について

第4回

日 時 令和2年7月13日（月）午後2時
場 所 ちむぐくる館 会議室3
議 題 ① 6月の行事報告
② 7月の行事調整
③ 6月の寄附について
④ 報告・調整事項について
⑤ 社協運営の課題について

第5回

日 時 令和2年8月11日（火）午後2時
場 所 ちむぐくる館 会議室3
議 題 ① 7月の行事報告

- ② 8月の行事調整
- ③ 7月の寄附について
- ④ 報告・調整事項について
- ⑤ 会員会費の状況について
- ⑥ 社協運営の課題について

第6回

- | | |
|-----|--|
| 日 時 | 令和2年9月8日（火）午後2時 |
| 場 所 | ちむぐくる館 会議室1・2 |
| 議 題 | <ul style="list-style-type: none"> ① 8月の行事報告 ② 9月の行事調整 ③ 8月の寄附について ④ 報告・調整事項について ⑤ 第2回理事会、第2回評議員会の議案について ⑥ 社協運営の課題について |

第7回

- | | |
|-----|---|
| 日 時 | 令和2年10月13日（火）午後2時 |
| 場 所 | ちむぐくる館 会議室3 |
| 議 題 | <ul style="list-style-type: none"> ① 9月の行事報告 ② 10月の行事調整 ③ 9月の寄附について ④ 報告・調整事項について ⑤ 赤い羽根共同募金の状況について ⑥ 社協運営の課題について |

第8回

- | | |
|-----|--|
| 日 時 | 令和2年11月10日（火）午前10時 |
| 場 所 | ちむぐくる館 会議室3 |
| 議 題 | <ul style="list-style-type: none"> ① 10月の行事報告 ② 11月の行事調整 ③ 10月の寄附について ④ 報告・調整事項について ⑤ 赤い羽根共同募金の状況について ⑥ 第3回理事会、第3回評議員会の議案について ⑦ 社協運営の課題について |

第9回

- | | |
|-----|--|
| 日 時 | 令和2年12月8日（火）午後2時 |
| 場 所 | ちむぐくる館 会議室3 |
| 議 題 | <ul style="list-style-type: none"> ① 11月の行事報告 ② 12月の行事調整 ③ 11月の寄附について ④ 報告・調整事項について ⑤ 社協運営の課題について |

第10回

- 日 時 令和3年1月12日（火）午後2時
場 所 ちむぐくる館 会議室3
議 題 ① 12月の行事報告
② 1月の行事調整
③ 12月の寄附について
④ 報告・調整事項について
⑤ 歳末たすけあい募金の状況について
⑥ 社協運営の課題について

第11回

- 日 時 令和3年2月9日（火）午後2時
場 所 ちむぐくる館 会議室3
議 題 ① 1月の行事報告
② 2月の行事調整
③ 1月の寄附について
④ 報告・調整事項について
⑤ 歳末たすけあい激励金配分状況について
⑥ 第4回理事会、第4回評議員会の議案について
⑦ 社協運営の課題について

第12回

- 日 時 令和3年3月8日（月）午前10時
場 所 ちむぐくる館 会議室3
議 題 ① 2月の行事報告
② 3月の行事調整
③ 2月の寄附について
④ 報告・調整事項について
⑤ 第5回理事会、第5回評議員会の議案について

(5) 福祉基金運営委員会の開催

福祉基金の適正な運営を図るため、福祉基金の活用について次のとおり開催した。

第1回

- 日 時 令和3年3月9日（火）午後5時～6時
場 所 ちむぐくる館 ホール
出 席 5人
内 容 ① 「福祉基金」の活用について

(6) 法人監査の実施

(法人監事監査)

業務執行状況並びに収支決算について関係職員立会いのうえ、2名の監事により中間監査、決算監査を実施した。

第1回

日 時 令和2年5月25日（月）午前9時30分～正午
場 所 ちむぐくる館 会議室1・2
内 容 ①令和元年度事業監査 ②令和元年度会計監査

第2回

日 時 令和2年12月17日（木）午前9時30分～正午
場 所 ちむぐくる館 会議室3
内 容 ①令和2年度中間事業監査 ②令和2年度中間会計監査

（7）事業総括会議の開催

目 的 上半期と下半期にわけて担当者ごとに事業及び活動を自己評価し、進捗状況等を確認するとともに、事業及び活動の継続・見直しなどを検討する。

第1回

日 時 令和2年11月16日（月）午前9時～午後5時
場 所 ちむぐくる館 会議室3
出 席 職員9人
内 容 ① 各担当による事業評価について
② その他

※下半期の会議は中止

（8）新型コロナウイルス感染症対策会議

目 的 新型コロナウイルス感染症への対応について協議するため開催した。

第1回

日 時 令和2年4月7日（火）午後2時～午後3時
場 所 ちむぐくる館 会議室3
出 席 職員4人（係長以上）
内 容 ① 新型コロナウイルス感染症拡大防止のための対策・対応等について

第2回

日 時 令和2年4月10日（金）午前9時～午前10時
場 所 ちむぐくる館 会議室3
出 席 職員3人（係長以上）
内 容 ① 新型コロナウイルス感染症拡大防止のための関連資料配布について

第3回

日 時 令和2年4月21日（火）午前9時～午前10時
場 所 ちむぐくる館 会議室3
出 席 職員8人
内 容 ① 新型コロナウイルス感染症拡大防止のための勤務形態変更について

第4回

日 時 令和2年5月8日（金）午後5時～午後6時
場 所 ちむぐくる館 会議室3
出 席 職員7人
内 容 ① 新型コロナウイルス感染症拡大防止のための勤務形態変更について

第5回

日 時 令和3年1月20日（水）午後3時30分～午後4時30分
場 所 ちむぐくる館 会議室3
出 席 職員4人（係長以上）
内 容 ① 新型コロナウイルス感染症拡大防止 県緊急事態宣言中での社協活動について

2. 広報啓発・福祉意識の高揚

(1) 社協だより「ちむぐくる」の発行・配布

目 的 社協が実施する事業等に対する理解を深めてもらうことで、事業運営に対し理解と協力を求める。また、広報紙を住民の福祉教育の媒体と位置づけるとともに、定期的に発行することで、新しい福祉情報の提供を図り、福祉への理解を深めてもらうことを目的に発行する。

発 行 毎年12回（第218号（令和2年5月号）～第229号（令和3年4月号））
部 数 毎号14,000部

(2) 社協だより編集委員会

目 的 社協だよりちむぐくるの定期的な発行とその内容に様々な視点を取り入れることで、内容の充実を図ることを目的とする。

内 容 ① 社協だよりの校正及び次号内容の検討 ② その他

- ◇ 第1回：期 日 令和2年 4月6日（月）（出席4人）
- ◇ 第2回：期 日 " 5月 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、
郵送による校正（回答5人）
- ◇ 第3回：期 日 " 6月2日（火）（出席5人）
- ◇ 第4回：期 日 " 7月1日（水）（出席5人）
- ◇ 第5回：期 日 " 8月 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、
郵送による校正（回答5人）
- ◇ 第6回：期 日 " 9月 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、
郵送による校正（回答5人）
- ◇ 第7回：期 日 " 10月6日（火）（出席5人）
- ◇ 第8回：期 日 " 11月2日（月）（出席4人）
- ◇ 第9回：期 日 " 12月1日（火）（出席4人）
- ◇ 第10回：期 日 令和3年 1月6日（水）（出席5人）

- ◇ 第11回：期 日 " 2月 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、
郵送による校正（回答5人）
- ◇ 第12回：期 日 " 3月3日（水）（出席5人）

（3）地域福祉懇談会（中止）

- 目 的 地域住民を対象に社協事業を紹介するとともに、地域における福祉ニーズの把握と共有を行い、住民の福祉意識の高揚を図る
- 内 容 ・社会福祉協議会の事業と活動について ・懇談（地域福祉について）

（4）社協ホームページ・ブログの運営

- 目 的 社会福祉協議会情報及び関連情報を町民にいち早く提供し、社会福祉協議会への理解と協力、地域福祉への住民参加を図る。
- URL <https://www.haebaru-shakyo.org>
- ホームページアクセス件数 15,824件（月平均 1,319件）
- 前年度実績 7,588件（月平均 632件）
- ブログアクセス件数 5,156件（月平均 430件）

（5）第7回南風原町社会福祉大会の開催（延期）

（6）社会福祉施設長等連絡会の開催（中止）

- 目 的 地域における福祉課題が多様化・複雑化するなか、社会福祉法人には地域の重要な社会資源として、地域の福祉・生活課題の解消に向けた具体的な取り組みをととして公益性を改めて担保することが求められています。そこで関係機関相互の連携強化を図り、協働体制づくりに資することを目的に連絡会を開催する。

3. 福祉教育及びボランティア活動の推進

I. 福祉教育の推進

（1）福祉教育連絡会の開催（中止）

- 目 的 町内保育園、幼稚園及び小中高校の福祉教育推進校が充実した福祉活動に取り組めるよう情報交換する。
- 助成金の申請について ○昨年度の福祉教育実践報告（各校の取り組み）○実践報告会の日程調整

（2）福祉教育・地域福祉活動実践報告会（中止）

- 目 的 学校での福祉教育や町内で行われている福祉活動の報告をととして、住民はじめ関係者の新たな福祉教育・地域福祉活動の発展につなげる。

(3) 福祉教育推進事業助成

目 的 町内認可保育園 14 園、幼稚園 4 校、小学校 4 校、中学校 2 校、高校 2 校
に福祉教育推進事業助成金を交付し福祉教育推進に寄与する。

助成対象校： 町内各保育所（園）、幼・小・中高校 26 校

15 園×10,000 円 1 園 1 校×30,000 円 6 校×50,000 円

(助成額 合計 510,000 円)

(4) 町内学校教諭等福祉研修会の開催（中止）

目 的 児童・生徒の福祉理解を進める担い手としての教諭等が、学校や地域での
福祉教育の必要性を再確認し、もって本町における福祉教育の推進に寄与す
ることを目的に開催する。

(5) 総合的学習の時間・出前講座への対応

目 的 小中高校が総合的な学習の時間に「思いやりの心」「助け合う心」を育て「自
分にできることを探す」といった福祉学習に取り組む中で、地域人材や地域資
源を活かし福祉教育推進に寄与する。

実 績 3 件

- ① 令和 2 年 6 月 10 日（水）、11 日（木）南風原小学校 4 年生 対応職員 3 人
「福祉ってなに」「ユニバーサルデザインについて」



- ② 令和 2 年 7 月 15 日（水）北丘小学校 4 年生 対応職員 4 人「アイマスク体験」



- ③ 令和 3 年 1 月 12 日（火）北丘小学校 4 年生 対応職員 2 人
「福祉ってなに」「ユニバーサルデザインについて」

II. ボランティア養成研修の充実

(1) 10代のボランティア研修会の開催（中止）

目 的 地域や学校を単位としたボランティア活動に取り組んでいる生徒や、これから行おうとしている生徒を対象に、ボランティア体験活動を通して人と人との絆の大切さを肌で感じ、自分たちにできることを探求し、共に生きる福祉のまちづくりが推進されることを期して実施する。

(2) 音訳ボランティア養成講座の開催（中止）

目 的 障がい者福祉の理解を深めるとともに、視覚障がい者へ関係情報及び資料提供などの音訳ボランティアを養成することを目的に開催する。

(3) 手話ボランティア養成講座の開催

目 的 手話を学ぶことにより聴覚障がい者とのコミュニケーション及び障がい者福祉への理解を深め、手話ボランティア活動の振興を図ることを目的とする

日 時 令和3年1月29日(金)～2月26日(金) 5回講座
毎週金曜日 午後6時半～8時

場 所 ちむぐくる館

講 師 中村成将氏、與那嶺恵美子氏

参加者 受講者8人、修了証授与者8人

内 容 手話入門（手話基礎知識、あいさつ、簡単なコミュニケーション等）

III. ボランティアセンター基盤整備

(1) ボランティア（団体）の登録・斡旋

目 的 ボランティア登録を行い、迅速かつ効果的に地域支援活動等に活かすことを目的に行う。

登録個人・団体	人数	団体
個 人 登 録	14	
V r活動が主目的の団体	815	29
V r活動が主目的ではない団体	133	8
合 計	962	37

(1) - 1 ボランティアの斡旋・活動支援

「学生傾聴ボランティア」

目 的 近年高齢者等の孤立が問題視される中で、これらの方々に傾聴ボランティアを実施することにより、孤立感や不安感を軽減させ、もって高齢者等の福祉の増進を図ること及び、福祉の仕事を目指す学生が高齢者とふれあうことで得られる気づきや学びの習得を目的に開催する

実施内容 事前オリエンテーション、世帯とのマッチング、訪問活動

参加者 2名（大学生）

実施日 オリエンテーション 令和2年12月11日（金）

訪問活動 令和2年12月17日（木）

(2) 日本テレビ主催「24時間テレビ 42 愛は地球を救う」チャリティ募金への協力
(中止)

(3) ボランティアセンター運営委員会の開催 (中止)

目 的 南風原町ボランティアセンターの基本的運営に関すること、事業計画及び企画・予算に関すること、ボランティアの開発・育成・プログラムに関することなどを執り行い、南風原町ボランティアセンターの適正な運営と強化を図るため運営委員会をおく。

(4) ボランティアプラットホームの開催 (中止)

(5) ボランティア団体連絡会及び新春さわやかもちつき大会実行委員会の開催

日 時 令和2年11月20日(金) 午前10時～
場 所 ちむぐくる館 会議室3
参加者 6人(福祉関係団体、ボランティア団体、社協職員)
内 容 第31回新春さわやかもちつき大会について(新型コロナウイルス感染におけるもちつき大会開催の検討について)、その他情報交換

(6) 第31回 新春さわやかもちつき大会の開催 (中止)

目 的 町内の福祉団体がもちつき大会を通して、さわやかにふれあい交流を図り、相互理解を深め、福祉の町づくりの推進に寄与する。
内 容 もちつき、団体紹介、レクリエーション・余興(町内中・高校生、がんじゅう宅急便)

(7) 民間福祉資金の活用・紹介

目 的 民間福祉資金の活用をととして社協の自主財源の確保とボランティア団体や福祉団体に公益資金を紹介することで、会活動の活性化を側面から支援する。
① りゅうぎんユイマール助成金(下期)の案内・周知

(8) ボランティア保険の加入促進

目 的 ボランティアが安心して活動できるように加入促進を図る。
① ボランティア活動保険 962人
(主な加入団体:小地域福祉ネットワーク、ボランティア団体、個人等)
② ボランティア行事用保険 39件(11, 429人)
(主な加入内容:社協の行事、小地域福祉ネットワークの行事、V r 団体行事等)
③ 福祉サービス総合補償(社協及び社協会員の事業所・法人等)
・ファミリーサポートセンター事業 1件(735人)
・まちづくりサポート事業 1件(360人)
・意思疎通支援事業(手話通訳・要約筆記) 1件(84人)
・養育支援事業 1件(60人)
・新川自治会ちゅういたしきだしき事業 1件(18人)
・宿直有償ボランティア活動 1件(366人)

- ④ 送迎サービス補償 5件(2,983人)
- ⑤ 保険事故の対応 2件(ボランティア団体:活動に向かう途中で自転車で転倒し腰部骨折)
(まちづくりサポートセンター事業:草刈り活動中に跳ねた小石が駐車中の車両の後部ガラスに当たり破損した)

4. 福祉総合相談事業の実施

(1) 相談活動

目 的 町民の抱える心配ごとの解決を図るため、一般相談員を配置し適切な助言・援助を行うとともに、法律相談、司法書士相談を実施し、専門的な支援を行う。

① ふれあい福祉相談室の設置

i) 相談日 ◇ 一般相談(月～金) 相談員2人

◇ 専門相談

・法律相談(月3回):弁護士 ・司法書士相談(月1回):司法書士

ii) 相談件数 3,391件

(一般 3,278件、法律 96件、司法書士 17件)

<一般相談内容別内訳> 延べ5,914件(1件に対して複数相談有)

内 容	件 数	内 容	件 数
生 計	2,796	結婚・離婚	48
職業・生業	1,222	精神衛生	102
家 族	384	人権・法律	77
住 宅	572	財 産	42
老人福祉(高齢者)	9	苦 情	12
母子・父子福祉問題	13	情緒問題	130
心身障害者(児)福祉	20	日常的な(生活技術)支援	5
児童福祉・母子保健福祉	49	DV・虐待	121
教育・青少年	20	その他	0
医療・健康	262	合 計	5,914
年 金	30		

② 会議・研修会等への参加

<会議>

(1) 登校支援会議 ⇒ 参加なし

(2) 要保護児童等対策地域協議会代表会議 ⇒ 参加なし

<研修等>

(1) 総合支援資金特例延長 説明会(令和2年7月27日/28日)

(2) 南社連研修会～サックス運動推進事業～オンライン研修(令和3年1月29日)

(3) 県精神障害者支援の障がい特性と支援方法を学ぶ研修 オンライン研修

(令和3年2月22日/24日)

③ 移動相談所での相談対応 ⇒ 対応なし

5. 低所得者福祉に関する事業

(1) 助け合い金庫貸付事業

目 的 町内に居住する緊急要保護世帯に対し、生活資金等の貸付を行うことにより生活の更生を図る。

申請件数 1 件
 貸付件数 1 件 (金額 20,000 円)
 年度末貸付件数 53 件 (金額 2,329,000 円)
 滞納件数 49 件
 年間償還額 263,750 円
 原資額 5,165,701 円

(2) 生活福祉資金貸付事業

目 的 資金の貸付と必要な相談支援を行うことにより、経済的自立及び生活意欲の助長促進、並びに在宅福祉および社会参加の促進を図り、安定した生活ができるようにする。

- ① 相談・対応件数：2,431 件 (内、新型コロナに関する相談：2,043 件)
- ② 申請件数：6 件 (貸付件数：4 件)
- ③ 貸付決定金額： 1,153,000 円
 - 福祉資金 (2 件) 1,052,000 円
 - 緊急小口資金 (2 件) 101,000 円
 - 総合支援資金 (0 件)
 - 要保護世帯向け不動産担保型生活資金 (0 件)
- ④新型コロナ特例貸付 (新型コロナによる収入減)：(1,270 件)
 - 455,170,000 円
 - 緊急小口資金－特例貸付 (656 件) 123,170,000 円
 - 総合支援資金－特例貸付 (572 件) 309,500,000 円
 - 再貸付－特例貸付 (42 件) 22,500,000 円

職業別内訳

職 業	件 数	職 業	件 数
飲食業	238	I T 関連	13
交通関連	230	農業関連	13
建築業	166	インストラクター	10
失 業	100	清掃業	9
観光業	84	文化関連	8
美容関連	72	その他	291
娯楽業	36	合 計	1,270

(3) 社会的孤立対策事業

①助成金の交付

i) 子ども居場所づくり

a. 新川自治会（継続：5年目）

- ・助成額：100,000円
- ・内容：新川区民食堂の開催 ⇒ 内容変更
- ・テイクアウト弁当4回 高齢者世帯等への友愛訪問（パン・マスク配布）

②緊急一時支援金の給付

- ・給付件数：0件（給付金額：0円）

③フードドライブ運動の実施（随時募集）

1) 物品寄贈（受入）：914品

【寄贈物品内訳】

- ・お米：139袋
- ・缶詰/レトルト：449個
- ・調味料：87個
- ・お菓子/ドリンク：91個
- ・その他/野菜：148品

2) イオン南風原店フードドライブより188品

3) MUGフードプロジェクトより軽貨物車2台分に入る品



イオン南風原店フードドライブ



MUGフードプロジェクト

④子ども食堂の開催（毎週水曜日開催 午後5時～7時30分）

- ・開催数：35回 延利用者数：1,603人 延ボランティア者数：129人

協力事業所：咲レストラン、レストランていーら

新型コロナ感染拡大防止のための中止期間：4月8日～6月3日

8月5日～9月16日



- ・「沖縄セルラー子ども基金」へ応募 300,000 円寄附を受ける
- ・イオン琉球㈱「幸せの黄色いレシートキャンペーン」への応募
イオンギフトカード：260,100 円寄贈を受ける

⑤ 子どもたちへのお弁当提供（光文堂コミュニケーションズ㈱）

- ・開催数：48 回 ・延食数：4,359 食



光文堂コミュニケーションズ㈱



イオン琉球㈱「幸せの黄色いレシートキャンペーン」

（４）低所得世帯等に対するその他の支援

- ① お米券・商品券の提供：０件
- ② 食料品提供 ３７４件 ーフードバンク（９３件）、社協（２８１件）
- ③ その他（物品等提供）ー粉ミルク、ベビー用おむつ

6. 老人福祉に関する事業

（１）老人福祉月間の広報活動

目 的 老人福祉について関心を高めてもらうことを目的に啓発活動として行う。
 標語「みんなで築こう 安心と活力ある健康長寿社会」
 ポスターの掲示 １００枚（２０行政区、役場、社協等）
 横断幕の設置 ４ヶ所

（２）在宅介護支援センター運営事業の実施

目 的 町内の６５歳以上の高齢者が地域で安心して暮らしていけるよう、保健・福祉・介護の相談に対し総合的に支援を行なう。
 また、ニーズに即した支援や相談に応じるため関係機関との連絡調整を行ない、高齢者やその家族の福祉の向上を図る

① 相談および支援業務

- ・相談延件数 １，９０７件
- ・訪問件数 ９７２件 （実態把握件数：６２件）

＊ ６５歳以上世帯名簿から、単身高齢者世帯と高齢者のみ世帯を優先に訪問し、本人の状況確認や実態把握調査を行う。支援が必要な方を早期に把握し、

介護サービスや福祉サービス等必要な支援につなげ、又、見守り支援及び地域活動への参加を促し生活の安定化を図る

- ② 地域ケア会議への参加（役場保健福祉課、地域包括支援センター、社協）
- ③ 基本台帳の整備
- ④ 保健・福祉・医療情報の収集・啓発

（３）友愛訪問活動推進事業の実施

目 的 定期的な見守りが必要な世帯を対象に福祉協力員等が友愛訪問し、安否の確認を行いながら、あわせて孤独感の解消を図る。

毎週１回 火曜日

利 用 者 ３５人（令和３年３月末１９人）

実施日数 ３３日（コロナの影響により１２日間は休止）

延べ訪問回数（配食数） ７０９回（食） ペットボトル（水） ３３回

訪問ボランティア ２３人（民生委員・児童委員２４人、福祉協力員９人）

（４）高齢者健康づくり推進事業の実施

目 的 ちむぐくる館の健康器具等を活用し、高齢者の健康・生きがいをづくりの推進を図る。また積極的な参加を図るため、町内を巡回する福祉バスの運行を実施。

- ・実施：毎週月・水・金 ・内容：①健康づくり推進員の配置 ②巡回福祉バスの運行
- ・実施日数：７８日 ・延べ利用者数 ３９１人 ・１日平均 ５．０人

【各字延べ利用状況】

字 名	人 数	字 名	人 数	字 名	人 数
与那覇	１３	北丘ハイツ	３７	神 里	３６
宮 城	２８	兼 城	２２	兼本ハイツ	１５
大 名	４１	本 部	０	第一団地	３５
新 川	１８	喜屋武	０	第二団地	９
東新川	０	照 屋	０	宮平ハイツ	０
宮 平	０	津嘉山	１１５	兼平団地	０
慶 原	０	山 川	２２	合 計	３９１

※新型コロナウイルス感染症拡大予防のため２月１９日～９月２１日まで休止

（５）介護予防等事業の実施

- ① 一般高齢介護予防通所事業（地域型）の実施（１７ヶ所）

目 的 地域公民館を拠点にして健康チェック、レクリエーション・趣味活動を提供し、高齢者の生きがいと健康づくり、社会参加を促進し、社会的孤立感の解消及び自立の支援を図る。

i) 実績

地域名	実施日数	延利用者数	平均参加者	実登録者数
与那覇	6	35	5.8	35
宮城	1	11	11.0	11
大名	12	102	8.5	71
新川	5	27	5.4	19
宮平	1	24	24.0	24
北丘ハイツ	1	5	5.0	5
兼城	12	111	9.2	79
本部	4	36	9.0	36
喜屋武	12	234	19.5	162
照屋	10	118	11.8	64
津嘉山	10	238	23.8	190
山川	6	93	15.5	93
神里	6	89	14.8	89
兼本ハイツ	5	34	6.8	34
第一団地	6	46	7.6	34
第二団地	5	48	9.6	48
東新川	1	2	2.0	2
兼平	4	23	5.7	23
中央型ミニデイ	26	299	11.5	90
合計	133	1,575	10.8	1,109

ii) 新型コロナウイルス感染症拡大防止により事業中止（令和2年2月18日～6月7日）

6月8日（月）中央型ミニデイサービスより再開

ミニデイサービス事業再開についての説明会

○5月29日（金）午前11時～南風原中校区 20名（他5名、スタッフ11名）

〃 午後2時～南星中校区 22名（他1名、スタッフ10名）

iii) 事業担当職員調整会議等の開催

・調整会議 令和2年 5月18日（月）参加：6人、役場2人

〃 6月24日（水）参加：7人、役場3人

〃 8月26日（水）参加：7人、役場3人

〃 9月23日（水）参加：8人、役場5人、実習生3人

〃 10月28日（水）参加：9人、役場5人

〃 11月25日（水）参加：9人、役場5人

〃 12月23日（水）参加：7人、役場2人

令和3年 2月 5日（金）参加：7人、役場3人

〃 2月24日（水）参加：7人、役場5人

〃 3月24日（水）参加：7人、役場4人

- ・内 容 現場の情報共有、実施日の調整及び課題点、対応策の検討等
コロナ
- ・構 成 社協担当職員・レク指導員・看護師、役場高齢・保健福祉課担当職員

iv) 第17回 利用者交流会の開催（中止）

v) 買い物ツアー：中央型ミニデイサービス

日 時：令和2年7月6日（月）午前9時～正午

場 所：ファーマーズ糸満、平和記念公園、南部一周

参加者：利用者12名、スタッフ13名

② 軽度生活援助事業の実施

目 的 介護保険サービスの給付に該当しない高齢者で、居宅における家事援助等サービスを必要とする方に対し、ホームヘルパーを派遣して日常生活の援助を行う。

派遣世帯 9世帯（令和3年3月末現在利用者数 7世帯）

派遣実績 469時間 派遣回数 378回

③ ふれあいコールサービス事業の実施

目 的 ひとり暮らしの高齢者及び高齢者のみの世帯宅へ定期的に電話をかけることにより、健康状態や安否の確認及び心のふれあいを提供すると共に、緊急事態発生時の迅速な対応等で日常の安全を図る。

毎週3回 月・水・金曜日

実利用者数 18人（令和3年3月末現在利用者数 14世帯）

コール数 1,545回

④ 家族介護者支援事業の実施

I. 家族介護者交流事業

目 的 在宅で家族を介護されている方々が、交流や情報交換及びレクリエーションなどを通して日頃の介護疲れを癒し、心身ともにリフレッシュしていただくことを支援する。

i) ピクニック

期 日 令和2年7月14日（火） 午前9時30分～午後4時

場 所 本島中部（恩納村、嘉手納町）

参加者 13人

内 容 体験王国むら咲むら 嘉手納の道の駅

ii) 家族介護者交流会（糸満あだんの会との交流会） ⇒ 中止

iii) 家族介護者宿泊研修会 ⇒ 中止

iv) 新年会 ⇒ 中止

v) 健康づくり教室

期 日 令和3年3月17日(水) 午前10時30分～午後2時
参加者 15人
講 師 金城智士氏(南城市社会福祉協議会 健康運動指導士)
内 容 介護予防体操、昼食会

II. 家族介護教室

目 的: 在宅で家族を介護している方等が、介護の方法や保健・福祉制度及び介護者自身の健康づくりについて学ぶことで、介護の精神的・身体的負担の軽減を図る。

第1回

期 日 令和2年7月10日(金) 午後1時30分～3時30分
場 所 ちむぐる館 ホール
内 容 「介護が身になる!かしこく活用しよう福祉用具!」
講 師 大城政人氏(株シルバーサービス沖縄)
参加者 24人



第2回

期 日 令和2年9月29日(火) 午後1時30分～3時30分
場 所 ちむぐる館 ホール
内 容 「安心して暮らせるよう認知症について知ろう」
～地域で認知症を支えるために～
講 師 外間政也氏(豊見城中央病院 認知症看護認定看護師)
参加者 22人

第3回

期 日 令和2年12月1日(火) 午後1時30分～3時30分
場 所 ちむぐる館 ホール
内 容 「ミドル・シニア世代が知っておきたい運動の知識と実践」
～誰でもできる介護予防運動を学ぼう～
講 師 金城智士氏(南城市社会福祉協議会 健康運動指導士)
参加者 21人

⑤ 高齢者外出支援サービス事業の実施

目 的 i) 公共交通機関を利用することが困難な高齢者に対し、リフト付車両を使って医療機関への送迎。

ii) 高齢者サロン・ミニデイ活動等の参加者で、自分で通うことが困難な方の送迎。

1) 一医療機関等送迎支援

・利用実人数：19人（利用登録数：21人）

・延人数：155人

・延件数：279件

2) 一サロン・ミニデイ送迎支援

・利用延人数：236人（利用登録32人）

・稼働日数：53日

・延件数：445件

⑥ 生活支援体制整備事業の実施

目 的 生活支援コーディネーターを配置し、高齢者の生活ニーズの把握とニーズの
と社会資源のマッチングをとおして関係機関等のネットワーク構築をはじめ
生活支援体制づくりを目的に実施する。

実 績

i) 生活支援コーディネーター配置：2人

ii) 活動実績

活動内容		件数
資源開発	資源開発の情報収集	46
	地域への働きかけ	32
	関係機関への働きかけ	10
	生活支援の担い手・サービス開発	7
	計	95
ネットワーク構築	地域のネットワークづくり	27
	サービス提供主体間の連携体制づくり	3
	計	30
ニーズとサービスのマッチング	ニーズとサービスのマッチング	4
	社会資源の情報提供	17
	地域の支援ニーズとサービス提供主体の活動のマッチング	11
	計	32
その他	協議体に関すること	1
	ニーズ把握	81
	その他	26
	計	108
合 計		265

iii) 第1層協議体への参加・協力：会議（連絡会・研修会）開催なし

iv) 支えあいサポーター養成講座の開催

中止（企画・受講者募集まで行うも、開講直前で中止）

v) 外出自粛中の生活実態調査の実施

対象者：高齢者（ミニデイ利用者）：76人

高齢者支援の関係者（民生委員・自治会長・ボランティア等）：78人

結果概要

*高齢者の回答として「自粛期間中」の不安や困りごととして最も多かったのが「会話（友人との交流）」で、次いで「健康・体調面」「買い物」の順で多かった。

事業化：①高齢者外出支援ツアー 実施地区：1地区 中止：6地区

②学生による「傾聴ボランティア活動」

・事前学習会（オリエンテーション）：1回（参加：2人）

・傾聴活動（訪問）：1回（参加：2名 高齢者1世帯）



傾聴ボランティア活動



買い物ツアーの実施（ミニデイ中央型：7月6日）

v) その他の活動

1) 研修会・連絡会の実施・参加

①職員研修会の実施

「支えあいのまちづくりのために」

講 師：阿部 かおり 氏（さわやか福祉財団）

参 加：15人

②職員情報交換会

・第1回 令和2年8月27日（木）

「各業務内容と業務上で感じているニーズ等の情報共有」

参加：21人

・第2回 令和3年2月26日（金）

「長期化するコロナ禍の業務で見えてきた課題

課題を踏まえて社協でできることは何か」

参加：23人

2) 民生委員児童委員活動への支援（活動方策策定の支援）

7. 児童福祉に関する事業

(1) 児童福祉月間の広報活動

目 的 児童福祉について関心を高めてもらうことを目的に啓発活動として行う。

テーマ 「やさしさに つつまれそだつ やさしいところ」

ポスターの掲示 200枚（19行政区、役場、社協、保育園、幼稚園、小学校）

横断幕の設置 4ヶ所

(2) こいのぼり掲揚式の開催（中止）

目 的 「児童福祉月間」を目前に子ども達とこいのぼりを掲揚することによって子ども達の夢を育み、健やかな成長と健康づくりについて認識を高めることを目的に開催する。

(3) 子育てサロンの実施

目 的 子育て中の親子同士身近な地域で気軽に交流し情報交換ができる場づくりとして定期的に開催し地域の中で育児に関する情報を共有し共に支えあう地域づくりについて支援する。

実施地区 公民館・集会所等を拠点とした活動……1か所（ちむぐくる館のみ）

開催地域	開催日	実施回数	延組数	延人数
ちむぐくる館	不定期（週2回程度）	33	207	437
合 計		33	207	437

※新型コロナウイルス感染予防対策を施しながら再開・・・7月～ちむぐくる館のみ

※ちむぐくる館で行ったプチ講習会

11月27日（金）寝かしつけ講座

講師：東江 愛海 氏（参加者14人：大人7人、子ども7人）

12月4日（金）ヤクルト ウン知育教室

講師：平田 奈実 氏（沖縄ヤクルト株式会社）

（参加者9人：大人9人、子ども9人）

※新型コロナウイルス感染症予防対策により5か月間休止（4月～6月、8月、2月）

(4) 子育て講演会（中止）

(5) 子育てサロンサポーター連絡会の開催

目 的 日頃地域において実施している子育てサロンのサポーターらが、活動報告及び情報交換を行うことにより、サロン活動の活性につなげる。また、合同のイベント等の調整等を行う。

第1回

日 時 令和2年6月8日（月）午後2時
場 所 ちむぐくる館 会議室3
参加者 サポーター5人、職員4人
内 容 ・令和2年度子育てサロン再開について



(各サロンの再開時期について、ガイドラインについて)
・その他

第2回

日 時 令和2年11月11日（水）午後2時
場 所 ちむぐくる館 会議室3
参加者 サポーター5人、職員2人
内 容 ・令和2年度の実績報告（中間） ・活動の振り返りについて
・クリスマス会の開催について（中止） ・情報交換

第3回

日 時 令和3年3月10日（水）午後2時
場 所 ちむぐくる館 図書室
参加者 サポーター4人、職員2人（係長、担当）
内 容 ・令和2年度の実績報告 ・今年度活動の振り返り
・次年度の開催方法について ・情報交換

(6) ファミリーサポートセンター運営事業の実施

目 的 会員相互による扶助活動をととして子育て家庭に対する支援を行うことを目的に実施する。

実 績 職員の配置：アドバイザー 2人（常勤1人・パート1人）

① 子育てサポーター養成講座の開催（中止）

② サポート会員交流会（中止）

③ 広報啓発活動

i) 社協だよりちむぐくる、社協ホームページの活用、チラシやポスターの配布

ii) ファミサポだよりの発行（1回）

会員登録

・おねがい会員：383人 ・サポート会員：106人
・どっちも会員：69人 合 計：558人

④ サポート活動のあっせん

i) あっせん：852件（実績：676件 キャンセル：176件）

ii) 主な活動内容

内 容	回 数
1. 保育所・幼稚園の登園前の送り	13回
2. 保育所・幼稚園の登園前の迎え	147回
3. 学童保育の迎え及び帰宅後の預かり	43回
4. 子供の習い事等の場合の援助	144回
5. 保育所・学校等休み時の援助	16回
6. 保護者等の外出の場合の援助	10回
7. 保育所・幼稚園の迎え及び帰宅後預かり	108回
8. 保護者の病気、その他急用の場合の援助	8回
9. 保護者等の短時間・臨時的就労の場合	12回
10. 保護者等の求職活動中の援助	0回
11. 保護者等の冠婚葬祭による外出、他の子の学校行事の場合の援助	1回
12. その他（登校支援等）	174回
合 計	676回

（7）養育支援訪問事業

目 的 妊娠・出産・育児期に養育支援を特に必要な家庭に対し、サポート会員が居宅を訪問し、養育に関する指導、助言等を行うことにより、適切な養育の実施を確保する。

実利用世帯数：6世帯

派遣実績 266.0時間 派遣回数 120回

8. 障害者（児）福祉に関する事業

（1）居宅介護等事業（障害福祉サービス）

目 的 障がいのある方へホームヘルパーを派遣し、身体介護や家事援助・同行援護のサービスを提供することで、利用者が居宅においてその能力に応じ可能な限り自立した生活が営めるよう支援する。

ア. 居宅介護事業の実施

実利用者数 17人（令和3年3月末現在利用者数：13人）

派遣実績（時間数）

① 身体介護 361.5時間

② 家事援助 1329.25時間

③ 通院介助 73.0時間

合計 1763.75時間

イ. 同行援護事業の実施

実利用者数 5人（令和3年3月末現在利用者数 4人）

派遣実績（時間数） 854.5時間

(2) 障がい者スポレク交流事業の開催（中止）

目 的 スポーツ・レクリエーションによる交流をとおして、障がいのある方の健康維持・機能の向上と社会参加促進を図るとともに、参加者（健常者）が「障がい」について理解を深めることで共生による福祉のまちづくりに寄与することを目的に実施する。

(3) 県身体障害者スポーツ大会への協力（中止）

内 容 町選手・応援団の引率

場 所 沖縄県総合運動公園（レクドーム、体育館及び陸上競技場）

(4) 地域生活支援事業の実施（町受託事業）

① 福祉機器リサイクル事業の実施

目的 町民及び企業篤志家より福祉機器の寄贈を受け、必要とする在宅の障害者や高齢者に貸し出しを行い、日常生活の利便性を高め、本人・家族の福祉向上を図る。

【福祉機器貸出等状況】

1) 機器貸出：121件（個人：120件・団体：1件）

【機器別内訳】

車いす：48 介護ベッド：7 シャワーチェア：22

歩行器：20 杖（4点杖含む）：6 ポータブルトイレ：17

2) 物品寄贈受入れ：寄贈：3件

【内容】 車いす：1 ポータブルトイレ：1 介護ベッド：1

② 声の広報等発行事業の実施

目 的 文字による情報入手が困難な障がいのある方へ社協だより、町広報誌、町議会だよりを音訳・録音し希望者へ定期的に提供する。

内 容 社協だより、町広報誌、町議会だよりをCDに音訳し提供する。

活動者 延760人（音訳サークルたんぽぽ） 利用者 16人

音訳サークルたんぽぽ定例会 毎月1回

音訳学習会の実施（中止）

目 的 音訳会員が日頃の活動の中から感じる疑問やまた音訳の際の問題点を確認し、共通理解を図りながら資質の向上を目的に学習会を開催する。

(5) 障がい者相談支援事業の実施（町受託事業）

目 的

南風原町在住の障がい者及び障がい児、障がい児の保護者又は介護を行う者などからの相談に応じ、必要な情報の提供等の便宜を供与することや、権利擁護のために必要な援助を行なうことにより、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるように支援する。

①コミュニティソーシャルワーカー（相談支援員） 3 人の配置

②相談等実績

i) 相談延べ件数

訪 問	来 所	電 話	その他	合 計
606	263	2,972	217	4,058

ii) 相談者内訳

	延件数
障がい者	3,709
身体障がい	179
重症心身障がい	1
知的障がい	303
精神障がい	3,128
発達障がい	28
高次脳機能障がい	16
難病	53
その他	1
障がい児	349
身体障がい児	27
重症心身障がい児	30
知的障がい児	15
精神障がい児	6
発達障がい児	249
難病(児)	20
その他・児	2
合計	4,058

iii) 相談支援実人数：248 人

【内訳】：障がい害 210 人 障がい児 38 人

iv) 相談支援内容

	合計
介護に関すること	10
家計・経済・税金に関すること	388
金銭管理に関すること	104
年金に関すること	128
法律・福祉制度・サービスに関すること	1,140
職業(就労)・生業に関すること	185
住宅に関すること	362
家族関係・人間関係に関すること	345
結婚・離婚に関すること	47
家庭内暴力(虐待・DV)に関すること	43
保育教育・学校生活に関すること	103
医療・健康・衛生に関すること	892
病状(障がい)の理解に関すること	61
アルコールに関すること	52
不安の解消・情緒の安定に関すること	372
情報共有・情報提供に関すること	1,796
安否確認(状況確認)に関すること	546
日常的な(生活技術)支援に関すること	78
地域支援に関すること	11
養育支援に関すること	86
児童・母子保健に関すること	23
苦情に関すること	4
連絡調整に関すること	215
同行・代行支援に関すること	200
その他に関すること	23
合計	7,214

v) その他の活動

地域活動	93
①ミニデイ	18
②福祉協力員連絡会	3
③地域づくり推進委員会	0
④移動相談	54
⑤連絡調整	11
⑥その他	7
研修会(派遣・参加)	17
事例検討会	49
ケース会議	41
要対協	8
会議・連絡会	43
①所内ミーティング	22
②障がい班ミーティング	0
③町自立支援協議会関連	9
④南部圏域相談部会	1
⑤その他の会議	11
合計	202

※「移動相談」は実施回数が54回

相談件数は13件

※支えあうまちづくり事業における

コミュニティソーシャルワーカーの

活動実績と共通

9. 母子父子福祉に関する事業

(1) 母子寡婦・父子世帯のためのパソコン教室(中止)

目 的 パソコンの使用法を習得し、パソコンを活用して社会参加の促進や就労に活かせることを目的とする。

10. 民生委員・児童委員活動の支援

目 的 民生委員・児童委員との更なる連携強化により、小地域福祉ネットワーク推進事業や支えあうまちづくり事業の展開をととした地域福祉の推進を図る。

県外研修への派遣

全国主任児童委員研修会(西日本)への派遣 ⇒ 中止



1 1. 介護保険事業の実施

目 的 介護（要支援以上）を必要とする利用者に対してホームヘルパーを派遣し、身体介護や生活援助サービスを提供することで、利用者の在宅生活を支援することを目的とする。

① 実利用者数 訪問介護 27 人 予防訪問介護 28 人

(令和 3 年 3 月末現在利用者数 訪問介護 13 人 予防訪問介護 20 人)

② 提供時間数 訪問介護 2,366.75 時間 予防訪問介護 2,010.75 時間

③ 【提供時間数】

提供月	訪問介護員人数			利用者数			身体介護			身体生活			生活支援			合 計		
	常勤	登録	計	介護	予防	計	介護	予防	計	介護	予防	計	介護	予防	計	介護	予防	計
4月	2	9	11	17	22	39	163.5	13.5	177	25	0	25	53.5	170	223.5	242	183.5	425.5
5月	2	9	11	15	22	37	140	13.5	153.5	29.5	0	29.5	53.5	162.25	215.75	223	175.75	398.75
6月	2	9	11	14	22	36	149	12	161	41.5	0	41.5	48.5	160.5	209	239	172.5	411.5
7月	2	11	13	13	22	35	143.5	14.5	158	22	0	22	55	170.75	225.75	220.5	185.25	405.75
8月	2	11	13	13	21	34	88.5	12.5	101	29	0	29	52.5	151.25	203.75	170	163.75	333.75
9月	2	11	13	14	23	37	77.5	15.5	93	27	0	27	56.5	137	193.5	161	152.5	313.5
10月	2	11	13	16	22	38	92.5	17.5	110	29	0	29	78	145.75	223.75	199.5	163.25	362.75
11月	2	11	13	16	23	39	119.5	15.5	135	17.5	0	17.5	96.25	149	245.25	233.25	164.5	397.75
12月	2	11	13	17	23	40	94.5	18	112.5	19	0	19	81.25	165	246.25	194.75	183	377.75
1月	2	11	13	14	23	37	89.5	15.5	105	25.5	0	25.5	76.5	146.5	223	191.5	162	353.5
2月	2	12	14	16	22	38	85.5	12	97.5	12	0	12	57.25	141	198.25	154.75	153	307.75
3月	2	12	14	13	20	33	70.5	23	93.5	14	0	14	53	128.75	181.75	137.5	151.75	289.25
累 計				178	265	443	1,314.0	183.0	1,497.0	291.00	0	291.00	761.75	1,827.75	2,589.5	2,366.75	2,010.75	4,377.5

【訪問介護】

【予防訪問介護】

身体介護	1,314.0 時間	183.0 時間
身体生活	291.0 時間	0 時間
生活支援	761.75 時間	1,827.75 時間
合 計	2,366.75 時間	2,010.75 時間

② 定例ミーティングの開催

(毎月 1 回開催：7 回) ※4 回中止

内 容 利用者の状況確認、事務連絡、確認事項、情報交換

12. 支えあうまちづくり事業の実施

目 的： 全ての住民が地域で尊厳をもって豊かな暮らしを営めるよう、地域とともに専門職の積極的な関わり等によって福祉課題を把握し住民が主体となった助け合い・支え合い活動の展開及び、依頼者と提供者を結び有償による支え合いの仕組みで問題解決を図るため、「まちづくりサポートセンター」を設置してサービスを提供する。

(1) コミュニティソーシャルワーカー（CSW）の配置

内容： ① コミュニティソーシャルワーカーの配置（7人）（地区担当制：障害者相談兼務）

※（本事業・町補助金：3人 障害者相談事業・町受託：3人 自己財源：1人）

②福祉マップづくりと見守り活動支援

③住民に対する福祉教育の推進

④その他、住民による地域福祉活動への支援

i) 相談延べ件数

訪 問	来 所	電 話	その他	合 計
183	73	634	71	961

ii) 相談者内訳

	延人数
高齢者	495
児童・未成年	27
母子・父子	33
生活家族	42
生活困窮世帯	290
地域	8
その他	66
合計	961

iii) 相談支援内容

	合計
介護に関すること	8
家計・経済・税金に関すること	99
金銭管理に関すること	8
年金に関すること	16
法律・福祉制度・サービスに関すること	229
職業(就労)・生業に関すること	46
住宅に関すること	81
家族関係・人間関係に関すること	40
家庭内暴力(虐待・DV)に関すること	6
保育教育・学校生活に関すること	25
医療・健康・衛生に関すること	182
病状(障がい)の理解に関すること	6
アルコールに関すること	1
不安の解消・情緒の安定に関すること	43
情報共有・情報提供に関すること	422
安否確認(状況確認)に関すること	263
日常的な(生活技術)支援に関すること	24
地域支援に関すること	10
養育支援に関すること	2
連絡調整に関すること	26
同行・代行支援に関すること	9
その他に関すること	4
合計	1,550

iv) 実人数：202人

(うち新規：41人

継続：184人)

v) 見守りネットワークの整備

vi) 地域ケア会議への参加

vii) その他活動

※「障がい者相談支援事業 v) その他の活動」と共通

(2) まちづくりサポートセンターの設置

目 的： 住民の相互扶助活動をとおして地域の福祉課題の解決を図り、地域で安心して暮ら

すことのできる仕組みづくりを目的に実施する。

活動実績

①会員登録：依頼会員・・181人、提供会員・・139人、両方会員・・12人（計332人）

②あっせん・・・224件（実績：215件、キャンセル・断り：9件）

	活 動 内 容	件 数
1	病院への送迎	1 件
2	庭の草木の伐採	136 件
3	掃除・片付け	5 件
4	買い物、調理	62 件
5	その他	11 件
合 計		215 件

（３）小地域福祉ネットワークづくり推進事業の実施

目 的 援助を必要とする方々（単身高齢者や寝たきり老人、障害者等）が在宅のまま
で福祉制度を活用しながら、近隣住民の暖かい支えによって自立した生活が営
めるよう、字（自治会）を単位とした福祉のネットワーク（近隣援助体制）づ
くりを進める。

① 推進地区の指定及び助成金の交付（１７ヶ所）

推進地区	助成額	推進地区	助成額
与那覇「うらしま」	147,500 円	津嘉山「ティガネーの会」	212,500 円
宮 城「はごろも会」	142,500 円	山 川「あみの会」	89,000 円
大 名「がじまる会」	80,000 円	神 里「ゆうなの会」	116,500 円
新 川「ひまわり会」	184,500 円	第2団地「さわやかなの会」	240,500 円
宮 平「なーでえらの会」	150,500 円	兼本ハイツ「フレンドの会」	121,000 円
兼 城「ゆいまーる会」	161,500 円	第1団地「でいごの会」	127,000 円
本 部「いじゅんの会」	115,000 円	北丘ハイツ「階の会」	113,500 円
喜屋武「がじまるの会」	110,500 円	兼平団地「健寿会」	82,000 円
照 屋「ていーだの会」	123,500 円	合 計	2,317,500 円

② 推進地区連絡会の開催

第1回 小地域福祉ネットワークづくり推進地区連絡会

日 時 令和2年7月31日（金）午後2時～4時

場 所 ちむぐくる館 ホール

参加者 19人

内 容 ・今後のネットワーク活動について
・令和2年度ネットワーク活動助成金の交付について
・一般高齢介護予防通所事業利用者交流会について

- ・ボランティア保険加入について
- ・その他

(4) 小地域福祉ネットワーク独自活動による高齢者サロン等の実施 (17ヶ所)

1) サロン実績

		実施回数	利用者数	ボランティア	計	平均利用者	平均ボランティア
1	与那覇	10回	66人	114人	180人	6.6人	11.4人
2	宮城	1回	20人	4人	24人	20.0人	4.0人
3	大名					.0人	.0人
4	新川	4回	19人	18人	37人	4.8人	4.5人
5	宮平					.0人	.0人
6	兼城					.0人	.0人
7	本部	7回	69人	38人	107人	9.9人	5.4人
8	喜屋武	4回	77人	32人	109人	19.3人	8.0人
9	照屋	6回	71人	18人	89人	11.8人	3.0人
10	津嘉山	8回	177人	119人	296人	22.1人	14.9人
11	山川	11回	155人	63人	218人	14.1人	5.7人
12	神里	1回	10人	5人	15人	10.0人	5.0人
13	兼本	14回	92人	104人	196人	6.6人	7.4人
14	第一団地	1回	9人	2人	11人	9.0人	2.0人
15	第二団地	19回	169人	97人	266人	8.9人	5.1人
16	北丘ハイツ	1回	4人	5人	9人	4.0人	5.0人
17	兼平	19回	176人	38人	214人	9.3人	2.0人
		106回	1114人	657人	1771人	10.5人	6.2人

2) その他の活動

- i) 一般高齢介護通所事業 (ミニデイサービス) の協力
- ii) マスクづくり・配布
- iii) 見守り・友愛訪問 (弁当・おやつ・野菜等 配布)
- iv) 買い物ツアー企画・実施
- v) ボランティア定例会 (利用者に関する情報共有)

1 3. 地域支え合い体制づくり事業

目 的 住民の主体的な地域福祉活動の推進をととして、それぞれの地域性にあった福祉活動の展開と住民の支えあい・たすけあいによる誰もが安心して暮らし続けることのできる福祉のまちづくりの推進を図ることを目的に実施する。

(1) 継続支援 (宮平自治会・北丘ハイツ自治会・喜屋武自治会)

- ① “絆づくり” 事業・活動への助成…地域で実施が困難なため助成を中止

②福祉協力員活動への支援

i) 福祉協力員連絡会への参加・運営支援…福祉協力員連絡会の開催なし

(2) 見守りネットワーク「地域見守り隊」活動の民間事業者との協定締結

目 的：南風原町社会福祉協議会が関係機関と連携し実施する地域の支え合いづくりの取り組みとして、南風原町において事業活動を営む事業者等が相互に連携し、事業者等が活動で南風原町に暮らす住民の日常生活で異変と思われる状況等を発見した場合に、関係機関に連絡する体制の整備を促進することにより、住民相互の支え合うまちづくりを推進することを目的とする。

実 績 ①参加企業からの情報提供：1件（単身者の気になる言動について）
②参加企業に対する気になる世帯の見守り及び情報提供依頼（文書）：1回

14. 日常生活自立支援事業・日常的金銭管理支援事業

目 的 判断力の低下で日常生活を営むのに支障が生じている認知症高齢者、知的障害者、精神障害者等に対し、安心して在宅生活が継続できるように福祉サービスの利用手続きや日常の金銭管理などの援助を行なう。

内 容 福祉サービス利用援助
日常的金銭管理の援助
書類などの預かり援助

※ 日常生活自立支援事業や他制度の利用につながるまでの一時的な支援として、日常的な金銭管理支援事業を本会自主事業として行っている。

【利 用 者】 令和3年3月末現在

○日常生活自立支援事業

利用世帯 13世帯（新規契約：3世帯、解約：1世帯）

相談延べ件数：1, 149

内 容 対 象 者 事 項	本事業の利用に関するもの				合 計
	認知症高齢者等	知的障害者等	精神障害者等	不 明・ その他	
a. 問合せ件数 (制度、事業について)	0	0	1	0	1
b. 初回相談件数 (初回相談受付)	1	1	5	3	10
c. 相談援助件数 (ab以外)	415	212	472	39	1,138
合 計	416	213	478	42	1,149

○日常的金銭管理支援事業（町社協独自事業）

利用世帯 7 世帯（生活保護世帯 2 世帯）

相談延べ件数：624

訪問	来所	電話	その他(調整・会議等)	合計
210	27	334	53	624

15. 社協会員加入推進

目 的 自主財源の安定的な確保と会員制度をととした住民参加の促進を目的に実施する。

(1) 社協会員加入促進事業所まわりの実施

日 時：令和2年7月29日（水）午後1時～午後4時

参加者：役員、民生委員、職員等 31人

内 容：特別会員加入依頼（町内外事業所）

(2) 加入実績

種 別	件 数	実 績
戸別会員	3,837世帯	1,918,500円
賛助会員	132件	157,000円
団体会員	33団体	330,000円
特別会員	個 人 81人（107口） 事業所 270件（419口）	2,630,000円
合 計		5,035,500円

16. 調査研究並びに福祉対策

(1) 低所得世帯の調査

目 的 歳末たすけあい激励金配分対象者把握のため生活困窮世帯の調査を行う。

実施期間 令和2年11月1日～11月30日

調 査 員 民生委員・児童委員、相談員、CSW、在介、こども課（相談員）

調査対象 264世帯（内歳末たすけあい激励金配分：151世帯）

(2) 企画・広報委員会、総務・財政委員会の開催

ア. 企画広報委員会

第1回

日 時 令和2年12月9日(水) 午前10時～正午
場 所 ちむぐくる館 会議室3
出 席 6人
内 容 ・令和2年度上半期事業評価について
・質疑応答、意見交換

イ. 総務財政委員会

第1回

日 時 令和2年12月11日(金) 午後1時30分～午後3時30分
場 所 ちむぐくる館 会議室3
出 席 6人
内 容 ・令和2年度上半期事業評価について
・質疑応答・意見交換

17. 香典返し・寄附

(香典返し) 24件 1,880,000円

(寄 附) 26件 1,485,821円

日付	氏名	住所	金額	備考
4/6	匿名希望 様	字山川	30,000 円	一般寄附
4/15	匿名希望 様	字津嘉山	10,000 円	一般寄附
4/27	玉那覇 藤子、聖子様	字新川	4,000 円	一般寄附
4/30	沖縄セルラー電話(株) (代表取締役社長 湯浅英雄様)	那覇市松山	300,000 円	子ども食堂等で使用希望 (沖縄セルラー子ども基金)
6/10	匿名希望 様	字津嘉山	10,000 円	子ども食堂等で使用希望
6/11	匿名希望 様	字本部	50,000 円	一般寄附
6/19	仲里美和子 様	字照屋	100,000 円	一般寄附 (おかげさまで7周年歌音 チャリティーコンサート収益金)
6/29	匿名希望 様	字津嘉山	50,000 円	子ども食堂等で使用希望
7/1	匿名希望 様	—	30,000 円	子ども食堂等で使用希望
7/3	大城 武雄 様	字照屋	100,000 円	一般寄附
7/16	匿名希望 様	南城市大里	50,000 円	一般寄附
7/28	南風原中学校 27 期同	—	71,218 円	一般寄附 (還暦同期生会より一

	期生会実行委員会 様 (代表城間徹二様)			部を寄附)
7/29	(有) 三栄技研 (代表取締役安次富幸常 様)	字神里	28,603 円	一般寄附
9/7	匿名希望 様	中城村字 北上原	50,000 円	子ども食堂等で使用希望
9/8	匿名希望 様	字兼城	100,000 円	一般寄附
9/16	匿名希望 様	字津嘉山	10,000 円	子ども食堂等で使用希望
10/1	当真博史 様	字宮平	50,000 円	一般寄附
11/6	田 本 勉 様	字喜屋武	10,000 円	一般寄附
11/6	嘉手苺盛雄 様	字兼城	10,000 円	一般寄附
12/11	屋比久幸子 様	字新川	5,000 円	一般寄附
12/10	南風原町商工会 様 (会長金城宏孝様)	字本部	200,000 円	一般寄附 (地域活性化資金造成&チャリティ ゴルフ大会収益金として)
12/17	匿名希望 様	字本部	12,000 円	子ども食堂等で使用希望
R3.1/6	親川道子 様	字兼城	5,000 円	一般寄附
3/3	赤嶺敏昭 様	字喜屋武	50,000 円	一般寄附
3/19	南風原センター通り会 様(会長 城間義勝様)	字兼城	100,000 円	一般寄附
3/29	匿名希望 様	字宮城	50,000 円	子ども食堂等で使用希望



沖縄セルラー電話(株)
子ども基金支援金贈呈式 (4月15日)

18. 物品の寄贈及び配分

令和2年4月～令和3年3月

品 名 野菜(レタス、ねぎ、とうがん など) 随時
寄贈者 与古田征男 様 仲里利信 様 他
配分先 見守り支援世帯、高齢者世帯等

令和2年4月～令和3年3月

品 名 お弁当(4,359個)
寄贈者 光文堂コミュニケーションズ(株)(代表取締役社長 外間なるみ様)
配分先 町内の子育て世帯、町母子寡婦福祉会会員 等

令和2年4月

品 名 マスク
寄贈者 (株)萬裕商事 (会長 張本ユリ子様)
配分先 支援世帯 等

令和2年4月

品 名 ハンドソープ
寄贈者 沖縄ガス (株) (代表取締役社長 我那覇力蔵様)
配分先 支援世帯 等

令和2年4月

品 名 300,000円
沖縄セルラー電話(株)「沖縄セルラー子ども基金」
配分先 子ども食堂キッチンちむぐる

令和2年5月

品 名 卵 (2,894個)
寄贈者 美ら卵養鶏場 (社長 諸見里元様)
配分先 生活困窮世帯、生活福祉資金貸付相談者 等



令和2年5月

品 名 お菓子 (19 ケース)
寄贈者 (株)丸大 (代表取締役 大城義弘様)
配分先 生活困窮世帯 等

令和2年5月

品 名 マスク (4,000 枚)
寄贈者 (株)拓琉金属 (代表取締役社長 古波津清正様)
配分先 支援世帯、社協介護職員、相談業務職員 等

令和2年5月

品 名 食料品 (お菓子、レトルト食品)
寄贈者 匿名希望
配分先 支援世帯 等

令和2年5月

品 名 マスク、栄養ドリンク
寄贈者 久田病院
配分先 支援世帯、生活福祉資金貸付相談者 等

令和2年5月

品 名 お菓子
寄贈者 フードバンクセカンドハーベスト沖縄
配分先 支援世帯、生活福祉資金貸付相談者 等

令和2年5月

品 名 手作りマスク (90 枚)

寄贈者 安藤久子様
配分先 高齢者等支援世帯 等
令和2年6月

品 名 ラーメン (5食×6袋)
寄贈者 沖縄ヤクルト (株)

配分先 生活困窮世帯 等
令和2年7月

品 名 手作りマスク (60枚)
寄贈者 南星中学校ボランティア委員会と有志生徒
配分先 小さな子のいる世帯、支援世帯 等



令和2年8月

品 名 お米 (50kg)
寄贈者 日本青年会議所沖縄地区協議会及び島尻青年会議所
配分先 生活困窮世帯 等

令和2年9月

品 名 みかん (1箱)
寄贈者 喜瀬初子様
配分先 支援世帯 等



令和2年12月

品 名 クリスマスケーキ (70個)
寄贈者 株式会社 アサヒプラント (社長 中本 宏)
配分先 障害児童福祉施設等 (16か所)、児童館 (4館)、認可外保育園 (3か園)

令和2年12月

品 名 ぜんざい 1kg (30個)、ドリンク (120個)
寄贈者 沖縄明治乳業株式会社 (代表取締役社長 村田 紳)
配分先 歳末助け合い配分世帯、他

令和2年12月

品 名 レトルトパウチごはん (10個)
寄贈者 匿名希望
配分先 生活困窮世帯 等

令和2年12月

品 名 お米 (31kg)
寄贈者 大城逸子様
配分先 生活困窮世帯 等

令和2年12月

品 名 食料品 (缶詰、パスタ、レトルト食品 等)
寄贈者 南星中学校先生と全校生徒
配分先 生活困窮世帯 等

令和2年12月

品 名 ランドセル（2個）
寄贈者 匿名希望
配分先 生活困窮世帯 等

令和3年1月

品 名 お米（15 kg）
寄贈者 神里広・シゲ子様
配分先 生活困窮世帯 等

令和3年1月

品 名 お米（300 kg）
寄贈者 おきなわ米販株式会社
配分先 生活困窮世帯 等



令和3年1月

品 名 菓子（グミ）（500袋）
寄贈者 沖縄ビエント（代表取締役 新垣光邦様）
配分先 町内の学童クラブ11か所

令和3年1月

品 名 ラーメン、レトルトパウチごはん、乾燥あーさ、カップみそ汁
寄贈者 ろうきん与那原支店
配分先 生活困窮世帯 等

令和3年2月

品 名 スープ缶（8個）中華丼（20個）レトルトカレー（10個）ソーセージ缶（12個）、飲料水（12本）
寄贈者 匿名希望
配分先 生活困窮世帯 等

令和3年2月

品 名 お米、缶詰、レトルト食品、麺類
寄贈者 南星中学校ボランティア委員会
配分先 生活困窮世帯 等

令和3年3月

品 名 鶏肉（肩肉 60 パック、もも 60 パック）ビーフシチュー缶 672 缶、ソーセージステーキ 432 パック
寄贈者 琉伸会（会長 新垣良光様）
配分先 子育て中のひとり親世帯、多子世帯、一人暮らし高齢者世帯、見守り支援世帯 等



令和3年3月

品 名 おむつ（5袋）、粉ミルク（2缶）

寄贈者 匿名希望

配分先 子育て中の生活困窮世帯 等

令和3年3月

品 名 イオンギフトカード：260,100円分

イオン琉球㈱「幸せの黄色いレシートキャンペーン」

配分先 子ども食堂キッチンちむぐる

19. 役職員の研修等

目 的 役職員が福祉の専門職として専門性を高めるため、各種研修会へ参加・派遣し、また職員研修会を通してその知識を共有し共通認識を図る。

（1）県外研修への派遣

※ 派遣なし

（2）県内研修会等への参加（WEB研修含む）

1. 社会福祉協議会活動全国会議（YouTube）

日 時：令和2年12月18日（金）午前10時～11時30分

場 所：ちむぐる館 会議室1・2

内 容：①基調講話：「包括的な支援体制の構築の推進」

講 師：厚生労働省社会・援護局地域福祉課

地域福祉専門官 玉置隼人氏

②基調説明：「コロナ禍をふまえた社協の事業・組織基盤の強化」について

講 師：全国社会福祉協議会 地域福祉部長 高橋良太氏

参加者：6人

2. 社協活動全国会議第2分科会（ZOOM）

日 時：令和2年12月7日（月）午後1時30分～午後2時45分

場 所：ちむぐくる館 会議室3

内 容：「コロナ禍での社協の相談援助活動」について

話し手：富山県氷見市社協 事務局次長 森脇俊二氏

参加者：10人

3. 社協活動全国会議第4分科会（ZOOM）

日 時：令和2年12月22日（火）午後1時30分～午後3時

場 所：会議室3

内 容：「コロナ禍での地域活動について」

話して：大阪府豊中市社協 室長 勝部麗子氏

参加者：8人

4. 大学コンソーシアム沖縄主催 研修会&シンポジウム（ZOOM）

日 時：令和2年12月13日（日）午前10時～正午

場 所：会議室1・2

内 容：「コロナ禍における学生ボランティアに求められていること」

シンポジスト

入江優子氏（東京学芸大学教育インキュベーションセンター准教授）

田嶋大樹氏（東京学芸大学児童・生徒支援連携コンソーシアム特命助教）

喜久永りえ子氏（R・Kアカデミー代表）

平尾文芳氏（学生・家庭教師・R・Kアカデミー）

進行：本村真氏（琉球大学人間社会学科地域福祉学教授）

参加者：3人

（3）職場内研修会の実施

新入職員研修会

日 時 令和2年4月15日（水）午前9時15分～午後4時

場 所 ちむぐくる館 会議室3

講 師 会長 職員9人

内 容 社協事業の説明

参 加 新入職員6人

職員研修会（再掲）

日 時 令和2年7月17日（金）午前1時30分～午後3時30分

場 所 ちむぐくる館 会議室1・2

講 師 阿部 かおり 氏（さわやか福祉財団九州1ブロックリーダー）

内 容 講話「支えあいのまちづくりのために」

グループワーク「わたしならどう動くか」

参 加 15人

職員情報交換会（再掲）

第1回

日 時 令和2年8月27日（木）午前2時～午後4時
場 所 ちむぐる館 ホール
内 容 「各業務内容と業務上で感じているニーズ等の情報共有」
参 加 21人

第2回

日 時 令和3年2月26日（金）午前2時～午後4時
場 所 ちむぐる館 ホール
内 容 「長期化するコロナ禍の業務で見えてきた課題
課題を踏まえて社協でできることは何か」
参 加 23人

20. 苦情解決事業

社協が提供する福祉サービスに関する苦情に対し、適切な対応を行うことで早期解決を進め利用者の満足度を高めるとともに、受付担当者や解決責任者を配置し、さらに客観性を確保するため第三者委員を配置して苦情解決体制を整えます。

- ① 苦情受付担当者の配置 ② 苦情解決責任者の配置
③ 第三者委員の配置（2名） ④ 第三者委員情報交換会の開催 ※開催なし
⑤ 意見箱の設置

21. 実習生の受け入れ

社会福祉援助技術現場実習（社会福祉士）の受入
沖縄大学 学生（2人） 沖縄統合医療学院（1人）
受入人数 3人
受入期間 令和2年8月3日～9月30日 うち24日間

22. 各種福祉団体への支援

（1）福祉団体への助成金の交付

助成団体	助成額	助成団体	助成額
町老人クラブ連合会	200,000 円	町身体障害者福祉会	100,000 円
町民生委員児童委員連合会	120,000 円	町更生保護女性会	100,000 円
町手をつなぐ育成会	100,000 円	町母子寡婦福祉会	50,000 円
音訳サークル「たんぽぽ」	30,000 円	手話サークル「こがねもり」	30,000 円
町赤十字奉仕団	50,000 円		

(2) 福祉団体の事務局

団 体 名
町老人クラブ連合会
町民生委員児童委員連合会
町身体障害者福祉会
町母子寡婦福祉会
町介護者の会「にじの会」
音訳サークル「たんぽぽ」

23. マイクロバスの貸し出し

- ・高齢者健康づくり推進事業使用（月・水・金曜日）
- ・自治会、福祉団体等に貸出を行う。

(1) マイクロバスの利用状況 (令和2年4月～令和3年3月)

使用団体

- | | | | | |
|---------------|----|----------|----|--------------------|
| ・ 小地域福祉ネットワーク | 2回 | ・ 各字・自治会 | 3回 | |
| ・ 保育園 | 2回 | ・ 役場 | 2回 | ・ 町内福祉団体 3回 合計 12回 |

24. 福祉活動資金造成チャリティー芸能公演の開催

(1) 第33回社協福祉活動資金造成チャリティー芸能公演の開催 (中止)

(2) 第34回 社協福祉活動資金造成チャリティー芸能公演臨時調整会議及び実行委員会の開催

臨時調整会議

日 時	令和3年1月14日（木）午後5時～午後6時
場 所	ちむぐくる館 会議室3
内 容	新型コロナウイルス感染症の影響による第34回社協福祉活動資金造成チャリティー芸能公演について（開催・中止・延期の判断）
出席者	3人（実行委員長、郷土芸能部長、文化協会事務局長）

実行委員会

日 時	令和3年1月19日（火）午後5時～5時40分
場 所	ちむぐくる館 ホール
内 容	第34回社協福祉活動資金造成チャリティー芸能公演について
出席者	町文化協会、他 計9人

25. 共同募金運動の実施協力

目 的 子どもから高齢者まで障がいのある人もない人も誰もが住み慣れた地域で安心して生活を送ることができる福祉コミュニティの構築のためボランティア団体の支援及び社協事業、福祉施設等の支援をすることにより福祉コミュニティの実現をめざす。

(1) 共同募金会町委員会の開催

第1回

日 時 令和2年6月5日（金）
場 所 ちむぐくる館 会議室3
出席者 委員9人（監事2人）
内 容 ① 平成31年度事業報告について
② 平成31年度決算報告について

第2回

日 時 令和2年9月29日（火）
場 所 ちむぐくる館 会議室3
出席者 委員10人（監事2人）
内 容 ①令和2年度共同募金実施計画について
②令和2年度資金収支予算について
③令和2年度資金収支第1次補正予算について

(2) 赤い羽根伝達式及び事業所募金の実施

目 的 共同募金運動が円滑に展開されるように、ミスかすりより代表奉仕協力者へ赤い羽根の伝達式を行い、併せて激励してもらうことにより、奉仕者の意欲と運動の機運を盛り上げる。

第1回

日 時 令和2年10月6日（火）午後1時
運動員 55人
内 容 ① 事業所募金実施要領説明
② 事業所まわり

第2回

日 時 令和2年10月9日（金）午後1時
運動員 40人
内 容 ① 事業所募金実施要領説明 ② 事業所まわり



(3) 店頭募金活動の実施

第1回

日 時 令和2年10月4日（日）午後1時～5時
場 所 ・サンエーつかざんシティ店（南星中学校6人） 77,432 円
・かねひで南風原市場（南風原高校3人） 14,970 円

第2回

日 時 令和2年10月11日（日）午後1時～5時

場 所 ・サンエーつかざんシティ店（南風原中8人） 98,694 円
・かねひで南風原市場

（音訳サークルたんぽぽ5人、更生保護女性会7人）42,638 円

第3回

日 時 令和2年10月25日（日）午後1時～5時

場 所 ・サンエーつかざんシティ店（職員9人） 64,767 円



（4）赤い羽根共同募金運動の目標と実績

種 別	目標額	実 績 額	達成率
戸別募金	1,880,000 円	1,995,000 円 (3,922 件)	106.1%
職域募金	870,000 円	997,101 円 (57 件)	114.6%
事業所募金	2,200,000 円	2,355,490 円 (504 件)	106.8%
学校募金	280,000 円	355,979 円 (6 校)	127.0%
店頭募金	296,000 円	298,501 円 (5 回)	100.8%
県共募取り扱い団体 及び職域募金配分	0	191,206 円 (6 件)	
その他	0	170,452 円 (20 件)	
合 計	5,526,000 円	6,363,729 円	115.2%

(5) 歳末たすけあい運動の実施（令和2年12月1日～31日）

目 的 新たな年を迎える時期に、支援を必要とする人たちが地域で安心して暮らすことができるよう、町民をはじめ民生委員児童委員、区長・自治会長の協力を得て、援助活動を推進する。

目標額 1,900,000 円 実績 1,565,500 円 達成率 82.4%

〔 実 績 〕

種 別	金 額	備 考
戸別募金	815,450 円	4,078 世帯
職域募金	597,160 円	40 件
事業所	105,588 円	5 件
イベント募金	0 円	チャリティークリスマス
その他	47,302 円	6 件
小 計	1,565,500 円	
前年度繰越金	413,102 円	
合 計	1,978,602 円	次年度繰越
配分額	1,658,000 円	320,602 円

〔配分内訳〕

配分状況		世帯数	人数	金 額
激 励 金 の 配 分 先	知的障害者世帯	2 件	4 人	20,000 円
	身体障害者世帯	3 件	7 人	31,000 円
	精神障害者世帯	1 件	3 人	11,000 円
	ひとり暮らし老人	6 件	6 人	54,000 円
	長期療養世帯	5 件	10 人	50,000 円
	困窮世帯	84 件	252 人	923,000 円
	母子世帯	47 件	139 人	515,000 円
	父子世帯	3 件	10 人	34,000 円
	年末弁当配布	18 件	18 人	20,000 円
	計	169 件	449 人	1,658,000 円

(6) 第12回 共同募金チャリティークリスマスコンサートの開催（中止）

目 的 新たな年を迎える時期に、支援を必要とする人たちが地域で安心して暮らすことができるよう、チャリティーコンサートをととして援助活動を推進する。

(7) 災害たすけあい募金の実施

1. 令和2年7月豪雨災害義援金

取組期間 令和2年7月13日(月)～令和2年9月30日(水)

種 別	金 額
合 計	483,636 円

(8) 自動販売機の設置

設置場所：高架橋下(12月設置)、宮城公園(1月設置)、神里ふれあい公園(1月設置)
はえるん公園(2月設置)

収 益 金：18,205 円



26. 新聞切り抜き (R2.4.1.～R3.3.31 (48ページ～51ページ))
--